

北上市総合計画 2021～2030 令和5年度基本施策事後評価シート（評価対象期間：令和4年度）

基本方針	9.誰もが主体的に参画する市民協働の深化
基本施策	9-2.まちづくりで広がる市民協働の深化
関連するプロジェクト	9.市民が創る・まち育てプロジェクト

市民自らが地域社会に関心を持ち、自らできることを考え、行動するとともに、市民活動に関する理解を深め、進んで協力する市民協働のまちづくりの深化を目指して、地域づくりを担うリーダー育成、地域計画の実現への支援、市民自治のさらなる推進を図ります。

評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

総合評価	B
------	----------

R5事後	20
------	-----------

※達成状況評価欄の（ ）内については昨年度の評価結果です。

No.	担当部署等	プロジェクト	推進方針	成果指標	達成状況(対象:R4) (上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)	達成状況評価	達成状況分析(上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)		今後の方向性 (◇:R5に着手予定・着手済み ◆:R6以降の着手を検討)
							内部要因	外部要因	
1	まちづくり部	●	協働の定着と拡充 協働により事業の改善が図られる案件について、具体的な取組みの方法を研究し、関係部署との連携を図るとともに、協働手法のメリットを市民・行政・企業が共有できるよう、情報提供を行い、協働のマッチングを進める。	①③	地域活動等に参加している市民の割合は前回調査と比較して7.1ポイント低下した。 (指標①の成果指標は調査項目変更のため未把握。指標③は調査項目変更のため類似設問で評価)	B (B)	・協働のまちづくりを浸透させるため、市職員研修を実施した。 ・市民活動情報センターで、地域活動、市民活動、企業の社会貢献活動のマッチングを行った。 ・企業が行う地域貢献活動について広報やホームページで情報提供を行った。	新型コロナウィルス感染症の影響により、各主体の事業や活動の活動量が減少している。	◇多様な主体による協働のマッチングを推進するため、市民活動情報センターのコーディネーター活動を強化する。 ◇市役所内部の協働マインドを醸成するため、職員研修内容の見直し、協働事業の実績照会方法の改善、協働手順書の見直しに取り組む。 ◇企業褒賞制度の見直しを行い、「まちづくりコラボ・アワード」として施策をステップアップさせる。 ◇これまでの企業褒賞制度で実施してきた、ボランティア要素の強い社会貢献活動は、継続して情報収集を行い発信する。
2	まちづくり部	●	まちづくりをリードする人材の育成 新しい担い手を育成するため、一般向けの勉強会を開催し地域づくりへの多様な参加を促進するとともに、市内の高等学校等と連携した人材育成事業を実施し、次世代の担い手育成を継続して支援する。	①②	まちづくりスタートアップ塾を4回開催し、36人が参加した。参加人数は期待値を下回っているが、前年度よりも参加者が増加した。 高校の探究学習と連携を図ることで、次世代の人材育成支援を行った。	B (B)	毎回テーマを定めて少人数で学び合えるスタイルの開催方式をとった。 黒沢尻北高校、専修大学北上高校の探究学習に、市職員を派遣した。	新型コロナウィルス感染症の影響により、各主体の事業や個人の活動が減少している。 高校の「探究的な学習の時間」の中で、学びの場としての地域社会へのニーズが高まっている。	◇まちづくりスタートアップ塾の見直しを行い、体系的にまちづくりを学び、参加者同士のコミュニティ形成につながる事業に改善する。 ◇学びが活動や事業につながるしくみづくりに取り組む。 ◇新たに社会的な事業や活動に取り組む人や組織を支援するため、地域づくり課職員のコーディネート力のスキルアップに取り組む ◇学校法人北上学園との連携協定を充実して再締結し、まちなかキャンパスを核とした新たな切り口の協働のまちづくり・人材育成の推進に取り組む。 ◇市内各高等学校のニーズに応じた探究学習の支援を実施する。
3	まちづくり部	●	地域づくり組織のマネジメント力強化 地域づくり組織の実務的な業務の支援を継続的に行うとともに、地域経営力を向上するための研修を実施する。また、地域づくり組織と市が協働で行っている地域づくり政策について、定期的に検証し、必要な改善を行う。	①	(成果指標は調査項目変更のため見直し予定) 地域経営力を向上するための研修を開催し、地域づくり組織の役員及び職員の運営支援を行った。	B (B)	・区長制度の見直しにより顕在化した地域課題の検証を行い、課題の把握と必要な対策を明らかにした。 ・地域づくり組織向けの研修会を3回実施した。 ・自治組織連絡協議会運営費補助金を交付した。	地域課題がそれぞれであるため、自治組織連絡協議会としての統一事業が実施されがたい。(=補助金申請額の減少)	◇地域づくり組織運営アドバイザー設置事業として、社労士に業務委託し労務管理の相談対応を継続して実施する。 ◇地域課題解決のための組織として、持続可能な運営ができる組織体制について研究に取り組む。 ◆地域計画見直しに向けた研修会を行う。

凡例 ● 実績値 — 期待値

指標 ①		指標の説明								指標 ②		指標の説明								指標 ③		指標の説明							
市民主体によるまちづくりの推進に対する市民満足度(市民意識調査)		市民意識調査における平均満足度。								まちづくりスタートアップ塾への参加人数		年度ごとの講座参加者数								地域活動やボランティア活動などに参加している市民の割合(市民意識調査)		市民意識調査において「参加している」「ときどき参加している」と回答した人の割合。							
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
まちづくり部		実績値	3.8	3.74						まちづくり部	人	実績値	43	43	27	36			まちづくり部	%	実績値	48.6	48		40.9				
		期待値 ※R7は目標値	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9			期待値 ※R7は目標値	43	47.5	52	56.5	61	65.5			70	期待値 ※R7は目標値	48.6	49.1	49.6	50.1	50.5	51.0	51.5
		備考	H30		未実施	設問無し						備考											備考	H30		未実施			
指標 ④		指標の説明								指標 ⑤		指標の説明								指標 ⑥		指標の説明							
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
		実績値									実績値										実績値								
		期待値 ※R7は目標値									期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値								
		備考									備考										備考								
指標 ⑦		指標の説明								指標 ⑧		指標の説明								指標 ⑨		指標の説明							
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
		実績値									実績値										実績値								
		期待値 ※R7は目標値									期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値								
		備考									備考										備考								
指標 ⑩		指標の説明								指標 ⑪		指標の説明								指標 ⑫		指標の説明							
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
		実績値									実績値										実績値								
		期待値 ※R7は目標値									期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値								
		備考									備考										備考								
指標 ⑬		指標の説明								指標 ⑭		指標の説明								指標 ⑮		指標の説明							
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
		実績値									実績値										実績値								
		期待値 ※R7は目標値									期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値								
		備考									備考										備考								